

令和 3 年度 病院事業決算状況

都道府県名 岡山県

総務省

- 目次 -

市町村・組合名	病院名	ページ
-	地方独立行政法人 岡山県精神科医療センター	2
岡山市	総合病院岡山市立市民病院（ 想定企業会計）	3
岡山市	岡山市立せのお病院（想定企 業会計）	4
岡山市	国立病院機構岡山市立金川病 院	5
倉敷市	倉敷市立市民病院	6
玉野市	玉野市民病院	7
笠岡市	笠岡市民病院	8
井原市	井原市民病院	9
高梁市	国保成羽病院	10
備前市	備前病院	11
備前市	日生病院	12
備前市	吉永病院	13
瀬戸内市	瀬戸内市立瀬戸内市民病院	14
真庭市	真庭市国民健康保険湯原温泉 病院	15
美作市	美作市立大原病院	16
矢掛町	国保病院	17
鏡野町	国保病院	18
岡山市久米南町国民健康 保険病院組合	国保福渡病院	19

病院事業決算状況(令和3年度)		都道府県名	
		岡山県	
市町村・組合名			
病院名		地方独立行政法人 岡山県精神科医療センター	
施設及び業務概況等			
法適用区分		特殊診療機能	
病院区分		不採算地区病院	
建物面積	- m ²	不採算地区中核病院	
診療科数	-	指定病院の状況	
許可公営企業		看護配置	
DPC対象病院	-	経営形態	直営
		類似区分	精神病院

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%)・日				
区分	病床数	令和3年度	令和2年度	令和元年度
一般	-	-	-	-
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	-	-	-	-
平均在院日数(一般病床のみ)		-	-	-

設立団体の状況		
人口(人)	1,888,432	
決算規模(千円)	857,867,880	
標準財政規模(千円)	437,956,703	
財政力指数	0.51083	
経常収支比率(%)	89.4	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	11.1
	将来負担比率(%)	170.4

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	36,692			
1 経常収益	36,692			
(1) 医業収益	-			
(うち修正医業収益)	-			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	-			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	36,692			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	-			
(うち長期前受金戻入)	-			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	36,692			
2 経常費用	36,692			
(1) 医業費用	-			
職員給与費	-	-	60.2	106.2
材料費	-	-	25.3	8.8
(うち薬品費)	-	-	13.3	6.2
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.6	1.4
減価償却費	-	-	9.0	14.3
経費	-	-	22.5	34.9
(うち委託料)	-	-	12.5	19.5
研究研修費	-			
資産減耗費	-			
(2) 医業外費用	36,692			
(うち支払利息)	36,692	-	1.2	2.4
(3) 特別損失	-			
経常損失	-			
純損益	-			
累積欠損金	-			
経常収支比率	100.0		105.6	102.7
医業収支比率	-		85.1	60.7
修正医業収支比率	-		82.2	58.3
他会計繰入金対経常収益比率	-		11.3	31.2
他会計繰入金対医業収益比率	-		14.9	55.2
他会計繰入金対総収益比率	-		11.2	31.1
実質収益対経常費用比率	100.0		93.6	70.6

備考：
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	-
1 固定資産	-
(1) 有形固定資産	-
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	-
(1) 現金及び預金	-
(2) 未収金及び未収収益	-
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	-
1 固定負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) 一時借入金	-
(8) リース債務	-
2 流動負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	-
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	-
(1) 長期前受金	-
(2) 長期前受金収益化累計額()	-
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	-
1 資本金	-
2 剰余金	-
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-
負債・資本合計	-
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	-	-
資本勘定繰入	-	-
計	-	-

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
・修正医業収益とは、医業収益から
その他医業収益のうち他会計負担金を
除いたもので、修正医業収支比率とは、
修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
・「不良債務額」、「不良債務比率」、
「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
「健全化法上の資金不足額」、
「健全化法上の資金不足比率」、
「地財法上の資金不足額」、
「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
財政構造の弾力性を判断するための指標で、
人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
支出される経費(経常的経費)に充当された
一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債
の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和3年度)		都道府県名	
		岡山県	
市町村・組合名	岡山市		
病院名	総合病院岡山市立市民病院(想定企業会計)		
施設及び業務概況等			
法適用区分		特殊診療機能	
病院区分		不採算地区病院	
建物面積	- m ²	不採算地区中核病院	
診療科数	-	指定病院の状況	
許可公営企業		看護配置	
DPC対象病院	-	経営形態	直営
		類似区分	400床以上～500床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和3年度	令和2年度	令和元年度
一般	-	-	-	-
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	-	-	-	-
平均在院日数(一般病床のみ)		-	-	-

設立団体の状況	
人口(人)	724,691
決算規模(千円)	383,657,449
標準財政規模(千円)	211,842,919
財政力指数	0.77
経常収支比率(%)	85.5
健全化	実質赤字比率(%)
判断比率	連結実質赤字比率(%)
	実質公債費比率(%)
	将来負担比率(%)

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	43,569			
1 経常収益	43,569			
(1) 医業収益	-			
(うち修正医業収益)	-			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	-			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	43,569			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	-			
(うち長期前受金戻入)	-			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	43,569			
2 経常費用	43,569			
(1) 医業費用	-			
職員給与費	-	-	60.2	57.5
材料費	-	-	25.3	27.9
(うち薬品費)	-	-	13.3	14.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.6	12.6
減価償却費	-	-	9.0	8.1
経費	-	-	22.5	19.1
(うち委託料)	-	-	12.5	10.0
研究研修費	-			
資産減耗費	-			
(2) 医業外費用	43,569			
(うち支払利息)	43,569	-	1.2	1.1
(3) 特別損失	-			
経常損益	-			
純損益	-			
累積欠損金	-			
経常収支比率	100.0		105.6	105.7
医業収支比率	-		85.1	88.4
修正医業収支比率	-		82.2	85.6
他会計繰入金対経常収益比率	-		11.3	9.5
他会計繰入金対医業収益比率	-		14.9	12.0
他会計繰入金対総収益比率	-		11.2	9.4
実質収益対経常費用比率	100.0		93.6	95.7

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	-
1 固定資産	-
(1) 有形固定資産	-
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	-
(1) 現金及び預金	-
(2) 未収金及び未収収益	-
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	-
1 固定負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	-
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	-
(1) 長期前受金	-
(2) 長期前受金収益化累計額()	-
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	-
1 資本金	-
2 剰余金	-
(1) 資本金剰余金	-
(2) 利益剰余金	-
負債・資本合計	-
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	-	-
資本勘定繰入	-	-
計	-	-

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	12691.0
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益から
 その他医業収益のうち他会計負担金を
 除いたもので、修正医業収支比率とは、
 修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、
 「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
 「健全化法上の資金不足額」、
 「健全化法上の資金不足比率」、
 「地財法上の資金不足額」、
 「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
 算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
 財政構造の弾力性を判断するための指標で、
 人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
 支出される経費(経常的経費)に充当された
 一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
 毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
 減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債
 の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和3年度)		都道府県名	
		岡山県	
市町村・組合名	岡山市		
病院名	岡山市立せのお病院(想定企業会計)		
施設及び業務概況等			
法適用区分		特殊診療機能	
病院区分		不採算地区病院	
建物面積	- m ²	不採算地区中核病院	
診療科数	-	指定病院の状況	
許可公営企業		看護配置	
DPC対象病院	-	経営形態	直営
		類似区分	50床以上~100床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和3年度	令和2年度	令和元年度
一般	-	-	-	-
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	-	-	-	-
平均在院日数(一般病床のみ)		-	-	-

設立団体の状況	
人口(人)	724,691
決算規模(千円)	383,657,449
標準財政規模(千円)	211,842,919
財政力指数	0.77
経常収支比率(%)	85.5
健全化判断比率	実質赤字比率(%)
	連結実質赤字比率(%)
	実質公債費比率(%)
将来負担比率(%)	5.1

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	10,386			
1 経常収益	10,386			
(1) 医業収益	-			
(うち修正医業収益)	-			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	-			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	10,386			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	-			
(うち長期前受金戻入)	-			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	10,386			
2 経常費用	10,386			
(1) 医業費用	-			
職員給与費	-	-	60.2	76.8
材料費	-	-	25.3	14.4
(うち薬品費)	-	-	13.3	7.7
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.6	6.0
減価償却費	-	-	9.0	11.4
経費	-	-	22.5	31.5
(うち委託料)	-	-	12.5	14.5
研究研修費	-			
資産減耗費	-			
(2) 医業外費用	10,386			
(うち支払利息)	10,386	-	1.2	1.4
(3) 特別損失	-			
経常損失	-			
純損益	-			
累積欠損金	-			
経常収支比率	100.0		105.6	103.4
医業収支比率	-		85.1	74.3
修正医業収支比率	-		82.2	70.1
他会計繰入金対経常収益比率	-		11.3	23.0
他会計繰入金対医業収益比率	-		14.9	34.1
他会計繰入金対総収益比率	-		11.2	22.9
実質収益対経常費用比率	100.0		93.6	79.7

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	-
1 固定資産	-
(1) 有形固定資産	-
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	-
(1) 現金及び預金	-
(2) 未収金及び未収収益	-
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	-
1 固定負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) 一時借入金	-
(8) リース債務	-
2 流動負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	-
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	-
(1) 長期前受金	-
(2) 長期前受金収益化累計額()	-
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	-
1 資本金	-
2 剰余金	-
(1) 資本金剰余金	-
(2) 利益剰余金	-
負債・資本合計	-
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	-	-
資本勘定繰入	-	-
計	-	-

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	12691.0
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益から
 その他医業収益のうち他会計負担金を
 除いたもので、修正医業収支比率とは、
 修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、
 「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
 「健全化法上の資金不足額」、
 「健全化法上の資金不足比率」、
 「地財法上の資金不足額」、
 「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
 算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
 財政構造の弾力性を判断するための指標で、
 人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
 支出される経費(経常的経費)に充当された
 一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
 毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
 減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債
 の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和3年度)			都道府県名
			岡山県
市町村・組合名	岡山市		
病院名	国立病院機構岡山市立金川病院		
施設及び業務概況等			
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	力
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当
建物面積	3,592 m ²	不採算地区中核病院	
診療科数	5	指定病院の状況	救
許可公営企業		看護配置	10:1
DPC対象病院	-	経営形態	指定管理者(利用料金制)
		類似区分	50床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和3年度	令和2年度	令和元年度
一般	30	66.3	69.3	76.9
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	30	66.3	69.3	76.9
平均在院日数(一般病床のみ)		31.7	32.6	32.8

設立団体の状況	
人口(人)	724,691
決算規模(千円)	383,657,449
標準財政規模(千円)	211,842,919
財政力指数	0.77
経常収支比率(%)	85.5
健全化	
実質赤字比率(%)	-
連結実質赤字比率(%)	-
判断比率	
実質公債費比率(%)	5.1
将来負担比率(%)	-

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用	全国平均	類似平均
総収益	41,654			
1 経常収益	41,654			
(1) 医業収益	2,223			
(うち修正医業収益)	-			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	2,223			
(うち他会計負担金)	2,223			
(2) 医業外収益	39,431			
(うち国・都道府県補助金)	7,831			
(うち他会計補助・負担金)	9,584			
(うち長期前受金戻入)	22,016			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	57,319			
2 経常費用	57,319			
(1) 医業費用	44,896			
職員給与費	-	-	60.2	86.6
材料費	-	-	25.3	12.9
(うち薬品費)	-	-	13.3	7.1
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.6	5.1
減価償却費	34,873	1568.7	9.0	12.7
経費	10,023	450.9	22.5	43.7
(うち委託料)	1,960	88.2	12.5	21.5
研究研修費	-			
資産減耗費	-			
(2) 医業外費用	12,423			
(うち支払利息)	9,415	423.5	1.2	1.2
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損	-15,665			
純損	-15,665			
累積欠損金	282,120			
経常収支比率	72.7		105.6	102.4
医業収支比率	5.0		85.1	63.8
修正医業収支比率	-		82.2	58.5
他会計繰入金対経常収益比率	28.3		11.3	33.0
他会計繰入金対医業収益比率	531.1		14.9	56.7
他会計繰入金対総収益比率	28.3		11.2	33.3
実質収益対経常費用比率	52.1		93.6	68.6

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	660,095
1 固定資産	659,795
(1) 有形固定資産	659,766
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	29
2 流動資産	300
(1) 現金及び預金	300
(2) 未収金及び未収収益	-
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	522,301
1 固定負債	498,698
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	498,698
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) 一ス債務	-
2 流動負債	22,704
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	22,404
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リ一ス債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	-
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	899
(1) 長期前受金	113,477
(2) 長期前受金収益化累計額()	112,578
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	137,794
1 資本金	419,892
2 剰余金	-282,098
(1) 資本剰余金	22
(2) 利益剰余金	-282,120
負債・資本合計	660,095
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	4,707	11,807
資本勘定繰入	11,432	22,863
計	16,139	34,670

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	12691.0
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益から
 その他医業収益のうち他会計負担金を
 除いたもので、修正医業収支比率とは、
 修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、
 「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
 「健全化法上の資金不足額」、
 「健全化法上の資金不足比率」、
 「地財法上の資金不足額」、
 「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
 算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
 財政構造の弾力性を判断するための指標で、
 人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
 支出される経費(経常的経費)に充当された
 一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
 毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
 減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債
 の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和3年度)				都道府県名	
				岡山県	
市町村・組合名		倉敷市			
病院名		倉敷市立市民病院			
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド 訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	14,117 m ²	不採算地区中核病院	非該当		
診療科数	22	指定病院の状況	救		
許可公営企業		看護配置	7:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	直営		
		類似区分	100床以上～200床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和3年度	令和2年度	令和元年度
一般	198	66.3	61.4	78.0
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	198	66.3	61.4	78.0
平均在院日数(一般病床のみ)		14.7	16.1	17.4

設立団体の状況		
人口(人)	474,592	
決算規模(千円)	215,647,884	
標準財政規模(千円)	116,122,915	
財政力指数	0.86	
経常収支比率(%)	86.1	
健全化	実質赤字比率(%)	-
判断比率	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	2.9
	将来負担比率(%)	3.3

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	4,314,824			
1 経常収益	4,314,219			
(1) 医業収益	3,418,787			
(うち修正医業収益)	3,264,044			
入院収益	2,147,148			
外来収益	900,289			
診療収入計	3,047,437			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	371,350			
(うち他会計負担金)	154,743			
(2) 医業外収益	895,432			
(うち国・都道府県補助金)	536,892			
(うち他会計補助・負担金)	138,354			
(うち長期前受金戻入)	87,707			
(うち資本費繰入収益)	108,081			
(3) 特別利益	605			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	3,771,673			
2 経常費用	3,770,442			
(1) 医業費用	3,633,417			
職員給与費	2,191,682	64.1	60.2	66.7
材料費	403,319	11.8	25.3	17.8
(うち薬品費)	196,911	5.8	13.3	7.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	205,138	6.0	11.6	9.2
減価償却費	431,861	12.6	9.0	10.4
経費	600,088	17.6	22.5	28.7
(うち委託料)	417,567	12.2	12.5	13.3
研究研修費	2,520			
資産減耗費	3,947			
(2) 医業外費用	137,025			
(うち支払利息)	32,285	0.9	1.2	1.3
(3) 特別損失	1,231			
損益	543,777			
純損益	543,151			
累積欠損金	3,253,337			
経常収支比率	114.4		105.6	105.7
医業収支比率	94.1		85.1	80.6
修正医業収支比率	89.8		82.2	76.5
他会計繰入金対経常収益比率	6.8		11.3	14.8
他会計繰入金対医業収益比率	8.6		14.9	20.6
他会計繰入金対総収益比率	6.8		11.2	14.9
実質収益対経常費用比率	106.6		93.6	90.0

備考：
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	9,223,789
1 固定資産	7,780,775
(1) 有形固定資産	7,778,925
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	1,850
2 流動資産	1,443,014
(1) 現金及び預金	1,042,310
(2) 未収金及び未収収益	394,702
(3) 貸倒引当金()	3,596
(4) 貯蔵品	9,598
3 繰延資産	-
負債合計	9,780,604
1 固定負債	7,459,835
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	5,942,969
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	647,647
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	869,219
(7) 一ス債務	-
2 流動負債	625,125
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	277,890
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	27,876
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	135,619
(6) リ一ス債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	167,413
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	1,695,644
(1) 長期前受金	2,297,969
(2) 長期前受金収益化累計額()	602,325
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	-556,815
1 資本金	2,527,759
2 剰余金	-3,084,574
(1) 資本金剰余金	168,763
(2) 利益剰余金	-3,253,337
負債・資本合計	9,223,789
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	556,815
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	293,097	293,097
資本勘定繰入	146,631	146,631
計	439,728	439,728

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	95.2
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
 ・修正医業収益とは、医業収益から
 その他医業収益のうち他会計負担金を
 除いたもので、修正医業収支比率とは、
 修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、
 「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
 「健全化法上の資金不足額」、
 「健全化法上の資金不足比率」、
 「地財法上の資金不足額」、
 「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
 算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
 財政構造の弾力性を判断するための指標で、
 人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
 支出される経費(経常的経費)に充当された
 一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
 毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
 減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債
 の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和3年度)		都道府県名	
		岡山県	
市町村・組合名	玉野市		
病院名	玉野市民病院		
施設及び業務概況等			
法適用区分		特殊診療機能	
病院区分		不採算地区病院	
建物面積	- m ²	不採算地区中核病院	
診療科数	-	指定病院の状況	
許可公営企業		看護配置	
DPC対象病院	-	経営形態	直営
		類似区分	100床以上～200床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和3年度	令和2年度	令和元年度
一般	-	-	55.1	61.3
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	-	-	55.1	61.3
平均在院日数(一般病床のみ)		-	16.2	16.4

設立団体の状況		
人口(人)	56,531	
決算規模(千円)	25,657,814	
標準財政規模(千円)	15,941,380	
財政力指数	0.56	
経常収支比率(%)	87.8	
健全化	実質赤字比率(%)	-
判断比率	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	4.0
	将来負担比率(%)	-

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	1,071			
1 経常収益	1,071			
(1) 医業収益	-			
(うち修正医業収益)	-			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	-			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	1,071			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	-			
(うち長期前受金戻入)	-			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	1,071			
2 経常費用	1,071			
(1) 医業費用	-			
職員給与費	-	-	60.2	66.7
材料費	-	-	25.3	17.8
(うち薬品費)	-	-	13.3	7.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.6	9.2
減価償却費	-	-	9.0	10.4
経費	-	-	22.5	28.7
(うち委託料)	-	-	12.5	13.3
研究研修費	-			
資産減耗費	-			
(2) 医業外費用	1,071			
(うち支払利息)	1,071	-	1.2	1.3
(3) 特別損失	-			
経常損失	-			
損益	純損益	-		
累積欠損金	-			
経常収支比率	100.0		105.6	105.7
医業収支比率	-		85.1	80.6
修正医業収支比率	-		82.2	76.5
他会計繰入金対経常収益比率	-		11.3	14.8
他会計繰入金対医業収益比率	-		14.9	20.6
他会計繰入金対総収益比率	-		11.2	14.9
実質収益対経常費用比率	100.0		93.6	90.0

備考：
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	-
1 固定資産	-
(1) 有形固定資産	-
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	-
(1) 現金及び預金	-
(2) 未収金及び未収収益	-
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	-
1 固定負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) 一時借入金	-
(8) リース債務	-
2 流動負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	-
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	-
(1) 長期前受金	-
(2) 長期前受金収益化累計額()	-
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	-
1 資本金	-
2 剰余金	-
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-
負債・資本合計	-
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	-	-
資本勘定繰入	-	-
計	-	-

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
 ・修正医業収益とは、医業収益から
 その他医業収益のうち他会計負担金を
 除いたもので、修正医業収支比率とは、
 修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、
 「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
 「健全化法上の資金不足額」、
 「健全化法上の資金不足比率」、
 「地財法上の資金不足額」、
 「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
 算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
 財政構造の弾力性を判断するための指標で、
 人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
 支出される経費(経常的経費)に充当された
 一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
 毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
 減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債
 の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和3年度)				都道府県名	
				岡山県	
市町村・組合名		笠岡市			
病院名		笠岡市民病院			
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド 訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当		
建物面積	11,571 m ²	不採算地区中核病院			
診療科数	13	指定病院の状況	輸		
許可公営企業		看護配置	10:1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	50床以上~100床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輸...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和3年度	令和2年度	令和元年度
一般	60	93.3	36.7	43.5
療養	39	87.2	34.9	66.7
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	99	90.9	36.1	47.6
平均在院日数(一般病床のみ)		9.0	9.5	12.6

設立団体の状況		
人口(人)	46,088	
決算規模(千円)	26,388,381	
標準財政規模(千円)	13,895,677	
財政力指数	0.57	
経常収支比率(%)	87.1	
健全化	実質赤字比率(%)	-
判断比率	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	6.5
	将来負担比率(%)	51.0

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	2,186,496			
1 経常収益	2,185,926			
(1) 医業収益	1,626,026			
(うち修正医業収益)	1,578,616			
入院収益	1,034,304			
外来収益	399,746			
診療収入計	1,434,050			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	191,976			
(うち他会計負担金)	47,410			
(2) 医業外収益	559,900			
(うち国・都道府県補助金)	184,936			
(うち他会計補助・負担金)	334,590			
(うち長期前受金戻入)	5,911			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	570			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	2,011,487			
2 経常費用	2,002,994			
(1) 医業費用	1,924,134			
職員給与費	1,087,042	66.9	60.2	76.8
材料費	198,397	12.2	25.3	14.4
(うち薬品費)	98,767	6.1	13.3	7.7
(うち薬品費以外の医薬材料費)	76,043	4.7	11.6	6.0
減価償却費	107,317	6.6	9.0	11.4
経費	524,702	32.3	22.5	31.5
(うち委託料)	303,947	18.7	12.5	14.5
研究研修費	1,043			
資産減耗費	5,633			
(2) 医業外費用	78,860			
(うち支払利息)	3,392	0.2	1.2	1.4
(3) 特別損失	8,493			
損益	182,932			
純損益	175,009			
累積欠損金	3,864,748			
経常収支比率	109.1		105.6	103.4
医業収支比率	84.5		85.1	74.3
修正医業収支比率	82.0		82.2	70.1
他会計繰入金対経常収益比率	17.5		11.3	23.0
他会計繰入金対医業収益比率	23.5		14.9	34.1
他会計繰入金対総収益比率	17.5		11.2	22.9
実質収益対経常費用比率	90.1		93.6	79.7

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	1,379,684
1 固定資産	977,236
(1) 有形固定資産	947,901
(2) 無形固定資産	5,335
(3) 投資その他の資産	24,000
2 流動資産	402,448
(1) 現金及び預金	113,529
(2) 未収金及び未収収益	289,022
(3) 貸倒引当金()	2,352
(4) 貯蔵品	2,249
3 繰延資産	-
負債合計	1,258,684
1 固定負債	922,830
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	233,508
(2) その他の企業債	248,200
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	160,000
(6) 引当金	281,122
(7) 一ス債務	-
2 流動負債	256,236
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	59,941
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	40,000
(5) 引当金	69,492
(6) リ一ス債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	81,551
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	79,618
(1) 長期前受金	163,928
(2) 長期前受金収益化累計額()	84,310
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	121,000
1 資本金	3,901,527
2 剰余金	-3,780,527
(1) 資本剰余金	84,221
(2) 利益剰余金	-3,864,748
負債・資本合計	1,379,684
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	379,050	382,000
資本勘定繰入	32,512	40,820
計	411,562	422,820

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-
令和元年度	206,500	14.1

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	237.7
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	42,047
地財法上の資金不足比率(%)	2.5

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益から
 その他医業収益のうち他会計負担金を
 除いたもので、修正医業収支比率とは、
 修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、
 「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
 「健全化法上の資金不足額」、
 「健全化法上の資金不足比率」、
 「地財法上の資金不足額」、
 「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
 算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
 財政構造の弾力性を判断するための指標で、
 人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
 支出される経費(経常的経費)に充当された
 一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
 毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
 減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債
 の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和3年度)		都道府県名	
		岡山県	
市町村・組合名	井原市		
病院名	井原市民病院		
施設及び業務概況等			
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド 訓
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当
建物面積	12,444 m ²	不採算地区中核病院	非該当
診療科数	16	指定病院の状況	救臨 輪
許可公営企業		看護配置	10:1
DPC対象病院	-	経営形態	直営
		類似区分	100床以上～200床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和3年度	令和2年度	令和元年度
一般	120	78.9	65.6	65.7
療養	60	47.2	49.0	58.9
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	180	67.4	60.1	63.4
平均在院日数(一般病床のみ)		15.1	15.6	14.8

設立団体の状況		
人口(人)	38,384	
決算規模(千円)	23,810,024	
標準財政規模(千円)	13,140,736	
財政力指数	0.41	
経常収支比率(%)	83.6	
健全化	実質赤字比率(%)	-
判断比率	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	9.0
	将来負担比率(%)	2.1

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	2,887,787			
1 経常収益	2,887,787			
(1) 医業収益	2,374,641			
(うち修正医業収益)	2,334,953			
入院収益	1,344,883			
外来収益	576,473			
診療収入計	1,921,356			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	453,285			
(うち他会計負担金)	39,688			
(2) 医業外収益	513,146			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	391,131			
(うち長期前受金戻入)	86,745			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	2,777,024			
2 経常費用	2,777,024			
(1) 医業費用	2,667,056			
職員給与費	1,648,178	69.4	60.2	66.7
材料費	280,296	11.8	25.3	17.8
(うち薬品費)	117,919	5.0	13.3	7.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	133,556	5.6	11.6	9.2
減価償却費	193,894	8.2	9.0	10.4
経費	537,886	22.7	22.5	28.7
(うち委託料)	179,140	7.5	12.5	13.3
研究研修費	3,875			
資産減耗費	2,927			
(2) 医業外費用	109,968			
(うち支払利息)	33,881	1.4	1.2	1.3
(3) 特別損失	-			
損益	110,763			
純損益	110,763			
累積欠損金	534,499			
経常収支比率	104.0		105.6	105.7
医業収支比率	89.0		85.1	80.6
修正医業収支比率	87.5		82.2	76.5
他会計繰入金対経常収益比率	14.9		11.3	14.8
他会計繰入金対医業収益比率	18.1		14.9	20.6
他会計繰入金対総収益比率	14.9		11.2	14.9
実質収益対経常費用比率	88.5		93.6	90.0

備考：
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	4,229,763
1 固定資産	2,644,343
(1) 有形固定資産	2,305,237
(2) 無形固定資産	352
(3) 投資その他の資産	338,754
2 流動資産	1,585,420
(1) 現金及び預金	829,133
(2) 未収金及び未収収益	752,624
(3) 貸倒引当金()	179
(4) 貯蔵品	3,842
3 繰延資産	-
負債合計	3,832,071
1 固定負債	2,265,541
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	2,170,178
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	95,363
(7) 一 負債	-
2 流動負債	552,422
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	323,347
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	109,639
(6) リ 一 負債	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	108,940
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	1,014,108
(1) 長期前受金	2,441,209
(2) 長期前受金収益化累計額()	1,427,101
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	397,692
1 資本金	812,351
2 剰余金	-414,659
(1) 資本金剰余金	7,738
(2) 利益剰余金	-422,397
負債・資本合計	4,229,763
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	430,819	430,819
資本勘定繰入	202,057	202,057
計	632,876	632,876

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	22.5
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
 ・修正医業収益とは、医業収益から
 その他医業収益のうち他会計負担金を
 除いたもので、修正医業収支比率とは、
 修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、
 「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
 「健全化法上の資金不足額」、
 「健全化法上の資金不足比率」、
 「地財法上の資金不足額」、
 「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
 算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
 財政構造の弾力性を判断するための指標で、
 人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
 支出される経費(経常的経費)に充当された
 一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
 毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
 減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債
 の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和3年度)				都道府県名	
				岡山県	
市町村・組合名		高梁市			
病院名		国保成羽病院			
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド 訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当		
建物面積	8,307 m ²	不採算地区中核病院			
診療科数	10	指定病院の状況	救臨 へ 輪		
許可公営企業		看護配置	10:1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	50床以上~100床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%)・日				
区分	病床数	令和3年度	令和2年度	令和元年度
一般	54	79.4	79.1	77.2
療養	42	2.7	25.9	39.6
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	96	45.9	55.8	60.8
平均在院日数(一般病床のみ)		25.7	21.7	21.7

設立団体の状況	
人口(人)	29,072
決算規模(千円)	26,937,125
標準財政規模(千円)	14,324,144
財政力指数	0.31
経常収支比率(%)	91.0
健全化 判断比率	
実質赤字比率(%)	-
連結実質赤字比率(%)	-
実質公債費比率(%)	11.9
将来負担比率(%)	70.9

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	1,416,056			
1 経常収益	1,416,056			
(1) 医業収益	1,032,470			
(うち修正医業収益)	997,959			
入院収益	456,343			
外来収益	448,273			
診療収入計	904,616			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	127,854			
(うち他会計負担金)	34,511			
(2) 医業外収益	383,586			
(うち国・都道府県補助金)	86,907			
(うち他会計補助・負担金)	180,338			
(うち長期前受金戻入)	37,123			
(うち資本費繰入収益)	26,469			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	1,540,707			
2 経常費用	1,540,707			
(1) 医業費用	1,462,098			
職員給与費	848,325	82.2	60.2	76.8
材料費	147,855	14.3	25.3	14.4
(うち薬品費)	101,857	9.9	13.3	7.7
(うち薬品費以外の医薬材料費)	32,966	3.2	11.6	6.0
減価償却費	170,667	16.5	9.0	11.4
経費	294,296	28.5	22.5	31.5
(うち委託料)	138,672	13.4	12.5	14.5
研究研修費	687			
資産減耗費	268			
(2) 医業外費用	78,609			
(うち支払利息)	6,857	0.7	1.2	1.4
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損	-124,651			
純損	-124,651			
累積欠損金	1,107,218			
経常収支比率	91.9		105.6	103.4
医業収支比率	70.6		85.1	74.3
修正医業収支比率	68.3		82.2	70.1
他会計繰入金対経常収益比率	15.2		11.3	23.0
他会計繰入金対医業収益比率	20.8		14.9	34.1
他会計繰入金対総収益比率	15.2		11.2	22.9
実質収益対経常費用比率	78.0		93.6	79.7

備考：
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	3,427,742
1 固定資産	1,914,495
(1) 有形固定資産	1,853,455
(2) 無形固定資産	10,606
(3) 投資その他の資産	50,434
2 流動資産	1,513,247
(1) 現金及び預金	1,113,310
(2) 未収金及び未収収益	392,864
(3) 貸倒引当金()	67
(4) 貯蔵品	7,108
3 繰延資産	-
負債合計	1,483,750
1 固定負債	759,867
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	707,907
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	51,960
(7) 一時的借入金	-
2 流動負債	222,228
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	86,565
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	62,445
(6) リリース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	66,910
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	501,655
(1) 長期前受金	969,395
(2) 長期前受金収益化累計額()	467,740
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	1,943,992
1 資本金	3,029,230
2 剰余金	-1,085,238
(1) 資本剰余金	21,980
(2) 利益剰余金	-1,107,218
負債・資本合計	3,427,742
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	214,349	214,849
資本勘定繰入	26,469	31,298
計	240,818	246,147

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	107.2
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
 ・修正医業収益とは、医業収益から
 その他医業収益のうち他会計負担金を
 除いたもので、修正医業収支比率とは、
 修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、
 「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
 「健全化法上の資金不足額」、
 「健全化法上の資金不足比率」、
 「地財法上の資金不足額」、
 「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
 算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
 財政構造の弾力性を判断するための指標で、
 人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
 支出される経費(経常的経費)に充当された
 一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
 毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
 減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債
 の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和3年度)				都道府県名	
				岡山県	
市町村・組合名		備前市			
病院名		備前病院			
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当		
建物面積	7,566 m ²	不採算地区中核病院			
診療科数	14	指定病院の状況	輸		
許可公営企業		看護配置	10:1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	50床以上~100床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輸...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和3年度	令和2年度	令和元年度
一般	46	67.4	64.5	65.6
療養	44	43.4	50.6	61.5
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	90	55.6	57.7	63.6
平均在院日数(一般病床のみ)		16.6	18.1	16.3

設立団体の状況		
人口(人)	32,320	
決算規模(千円)	20,306,011	
標準財政規模(千円)	12,533,511	
財政力指数	0.43	
経常収支比率(%)	89.4	
健全化	実質赤字比率(%)	-
判断比率	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	9.9
	将来負担比率(%)	-

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	2,037,516			
1 経常収益	2,037,516			
(1) 医業収益	1,096,835			
(うち修正医業収益)	1,096,835			
入院収益	541,137			
外来収益	453,849			
診療収入計	994,986			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	101,849			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	940,681			
(うち国・都道府県補助金)	286,074			
(うち他会計補助・負担金)	159,347			
(うち長期前受金戻入)	40,728			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	1,819,587			
2 経常費用	1,819,587			
(1) 医業費用	1,282,025			
職員給与費	802,762	73.2	60.2	76.8
材料費	135,998	12.4	25.3	14.4
(うち薬品費)	51,283	4.7	13.3	7.7
(うち薬品費以外の医薬材料費)	70,864	6.5	11.6	6.0
減価償却費	74,015	6.7	9.0	11.4
経費	267,188	24.4	22.5	31.5
(うち委託料)	122,313	11.2	12.5	14.5
研究研修費	1,163			
資産減耗費	899			
(2) 医業外費用	537,562			
(うち支払利息)	30,744	2.8	1.2	1.4
(3) 特別損失	-			
損益	217,929			
純損益	217,929			
累積欠損金	1,554,190			
経常収支比率	112.0		105.6	103.4
医業収支比率	85.6		85.1	74.3
修正医業収支比率	85.6		82.2	70.1
他会計繰入金対経常収益比率	7.8		11.3	23.0
他会計繰入金対医業収益比率	14.5		14.9	34.1
他会計繰入金対総収益比率	7.8		11.2	22.9
実質収益対経常費用比率	103.2		93.6	79.7

備考：
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	9,149,880
1 固定資産	6,908,349
(1) 有形固定資産	5,198,802
(2) 無形固定資産	3,280
(3) 投資その他の資産	1,706,267
2 流動資産	2,241,531
(1) 現金及び預金	1,442,282
(2) 未収金及び未収収益	749,617
(3) 貸倒引当金()	12,496
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	4,607,364
1 固定負債	2,801,885
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	2,688,825
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	113,060
(7) 一ス債務	-
2 流動負債	688,793
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	222,533
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	123,596
(6) リ一ス債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	341,664
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	1,116,686
(1) 長期前受金	2,285,018
(2) 長期前受金収益化累計額()	1,168,332
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	4,542,516
1 資本金	5,606,664
2 剰余金	-1,064,148
(1) 資本金剰余金	84,905
(2) 利益剰余金	-1,149,053
負債・資本合計	9,149,880
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	149,907	159,347
資本勘定繰入	36,384	74,766
計	186,291	234,113

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	28.9
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
 ・修正医業収益とは、医業収益から
 その他医業収益のうち他会計負担金を
 除いたもので、修正医業収支比率とは、
 修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、
 「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
 「健全化法上の資金不足額」、
 「健全化法上の資金不足比率」、
 「地財法上の資金不足額」、
 「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
 算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
 財政構造の弾力性を判断するための指標で、
 人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
 支出される経費(経常的経費)に充当された
 一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
 毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
 減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債
 の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和3年度)				都道府県名	
				岡山県	
市町村・組合名		備前市			
病院名		日生病院			
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド 訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当		
建物面積	6,545 m ²	不採算地区中核病院			
診療科数	11	指定病院の状況	輸		
許可公営企業		看護配置	10:1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	50床以上~100床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輸...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和3年度	令和2年度	令和元年度
一般	40	63.7	61.3	59.2
療養	52	89.3	84.2	86.0
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	92	78.2	74.3	74.3
平均在院日数(一般病床のみ)		16.2	17.6	18.4

設立団体の状況		
人口(人)	32,320	
決算規模(千円)	20,306,011	
標準財政規模(千円)	12,533,511	
財政力指数	0.43	
経常収支比率(%)	89.4	
健全化	実質赤字比率(%)	-
判断比率	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	9.9
	将来負担比率(%)	-

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	1,355,435			
1 経常収益	1,355,435			
(1) 医業収益	1,180,124			
(うち修正医業収益)	1,157,142			
入院収益	654,831			
外来収益	430,033			
診療収入計	1,084,864			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	95,260			
(うち他会計負担金)	22,982			
(2) 医業外収益	175,311			
(うち国・都道府県補助金)	12,983			
(うち他会計補助・負担金)	129,935			
(うち長期前受金戻入)	26,473			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	1,224,974			
2 経常費用	1,224,974			
(1) 医業費用	1,161,959			
職員給与費	610,983	51.8	60.2	76.8
材料費	307,531	26.1	25.3	14.4
(うち薬品費)	225,721	19.1	13.3	7.7
(うち薬品費以外の医薬材料費)	70,302	6.0	11.6	6.0
減価償却費	62,043	5.3	9.0	11.4
経費	180,517	15.3	22.5	31.5
(うち委託料)	58,153	4.9	12.5	14.5
研究研修費	317			
資産減耗費	568			
(2) 医業外費用	63,015			
(うち支払利息)	13,112	1.1	1.2	1.4
(3) 特別損失	-			
損益	130,461			
純損益	130,461			
累積欠損金	-			
経常収支比率	110.7		105.6	103.4
医業収支比率	101.6		85.1	74.3
修正医業収支比率	99.6		82.2	70.1
他会計繰入金対経常収益比率	11.3		11.3	23.0
他会計繰入金対医業収益比率	13.0		14.9	34.1
他会計繰入金対総収益比率	11.3		11.2	22.9
実質収益対経常費用比率	98.2		93.6	79.7

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	9,149,880
1 固定資産	6,908,349
(1) 有形固定資産	5,198,802
(2) 無形固定資産	3,280
(3) 投資その他の資産	1,706,267
2 流動資産	2,241,531
(1) 現金及び預金	1,442,282
(2) 未収金及び未収収益	749,617
(3) 貸倒引当金()	12,496
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	4,607,364
1 固定負債	2,801,885
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	2,688,825
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	113,060
(7) 一ス債務	-
2 流動負債	688,793
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	222,533
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	123,596
(6) リ一ス債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	341,664
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	1,116,686
(1) 長期前受金	2,285,018
(2) 長期前受金収益化累計額()	1,168,332
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	4,542,516
1 資本金	5,606,664
2 剰余金	-1,064,148
(1) 資本金剰余金	84,905
(2) 利益剰余金	-1,149,053
負債・資本合計	9,149,880
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	151,525	152,917
資本勘定繰入	21,816	21,816
計	173,341	174,733

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	28.9
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益から
 その他医業収益のうち他会計負担金を
 除いたもので、修正医業収支比率とは、
 修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、
 「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
 「健全化法上の資金不足額」、
 「健全化法上の資金不足比率」、
 「地財法上の資金不足額」、
 「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
 算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
 財政構造の弾力性を判断するための指標で、
 人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
 支出される経費(経常的経費)に充当された
 一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
 毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
 減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債
 の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和3年度)				都道府県名	
				岡山県	
市町村・組合名		備前市			
病院名		吉永病院			
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当		
建物面積	5,550 m ²	不採算地区中核病院			
診療科数	20	指定病院の状況	輸		
許可公営企業		看護配置	10:1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	50床以上~100床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輸...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和3年度	令和2年度	令和元年度
一般	50	87.6	86.3	89.5
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	50	87.6	86.3	89.5
平均在院日数(一般病床のみ)		18.2	17.8	18.4

設立団体の状況		
人口(人)	32,320	
決算規模(千円)	20,306,011	
標準財政規模(千円)	12,533,511	
財政力指数	0.43	
経常収支比率(%)	89.4	
健全化	実質赤字比率(%)	-
判断比率	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	9.9
	将来負担比率(%)	-

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	1,890,775			
1 経常収益	1,890,775			
(1) 医業収益	1,725,486			
(うち修正医業収益)	1,724,700			
入院収益	565,851			
外来収益	1,071,049			
診療収入計	1,636,900			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	88,586			
(うち他会計負担金)	786			
(2) 医業外収益	165,289			
(うち国・都道府県補助金)	17,896			
(うち他会計補助・負担金)	98,522			
(うち長期前受金戻入)	24,456			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	1,868,065			
2 経常費用	1,865,065			
(1) 医業費用	1,757,010			
職員給与費	883,767	51.2	60.2	76.8
材料費	483,514	28.0	25.3	14.4
(うち薬品費)	351,958	20.4	13.3	7.7
(うち薬品費以外の医薬材料費)	117,879	6.8	11.6	6.0
減価償却費	74,937	4.3	9.0	11.4
経費	311,429	18.0	22.5	31.5
(うち委託料)	131,123	7.6	12.5	14.5
研究研修費	1,484			
資産減耗費	1,879			
(2) 医業外費用	108,055			
(うち支払利息)	19,350	1.1	1.2	1.4
(3) 特別損失	3,000			
損益	25,710			
純損益	22,710			
累積欠損金	39,271			
経常収支比率	101.4		105.6	103.4
医業収支比率	98.2		85.1	74.3
修正医業収支比率	98.2		82.2	70.1
他会計繰入金対経常収益比率	5.3		11.3	23.0
他会計繰入金対医業収益比率	5.8		14.9	34.1
他会計繰入金対総収益比率	5.3		11.2	22.9
実質収益対経常費用比率	96.1		93.6	79.7

備考：
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	9,149,880
1 固定資産	6,908,349
(1) 有形固定資産	5,198,802
(2) 無形固定資産	3,280
(3) 投資その他の資産	1,706,267
2 流動資産	2,241,531
(1) 現金及び預金	1,442,282
(2) 未収金及び未収収益	749,617
(3) 貸倒引当金()	12,496
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	4,607,364
1 固定負債	2,801,885
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	2,688,825
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	113,060
(7) 一ス債務	-
2 流動負債	688,793
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	222,533
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	123,596
(6) リ一ス債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	341,664
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	1,116,686
(1) 長期前受金	2,285,018
(2) 長期前受金収益化累計額()	1,168,332
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	4,542,516
1 資本金	5,606,664
2 剰余金	-1,064,148
(1) 資本金剰余金	84,905
(2) 利益剰余金	-1,149,053
負債・資本合計	9,149,880
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	97,276	99,308
資本勘定繰入	27,487	27,487
計	124,763	126,795

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	28.9
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
 ・修正医業収益とは、医業収益から
 その他医業収益のうち他会計負担金を
 除いたもので、修正医業収支比率とは、
 修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、
 「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
 「健全化法上の資金不足額」、
 「健全化法上の資金不足比率」、
 「地財法上の資金不足額」、
 「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
 算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
 財政構造の弾力性を判断するための指標で、
 人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
 支出される経費(経常的経費)に充当された
 一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
 毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
 減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債
 の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和3年度)				都道府県名	
				岡山県	
市町村・組合名		瀬戸内市			
病院名		瀬戸内市立瀬戸内市民病院			
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド 訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当		
建物面積	7,803 m ²	不採算地区中核病院			
診療科数	14	指定病院の状況	救 臨 輪		
許可公営企業		看護配置	10:1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	100床以上~200床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%)・日				
区分	病床数	令和3年度	令和2年度	令和元年度
一般	110	79.3	84.0	82.4
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	110	79.3	84.0	82.4
平均在院日数(一般病床のみ)		15.7	16.3	16.4

設立団体の状況		
人口(人)	36,048	
決算規模(千円)	23,620,257	
標準財政規模(千円)	11,947,090	
財政力指数	0.57	
経常収支比率(%)	81.8	
健全化	実質赤字比率(%)	-
判断比率	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	8.6
	将来負担比率(%)	18.3

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	1,919,407			
1 経常収益	1,918,817			
(1) 医業収益	1,536,154			
(うち修正医業収益)	1,488,235			
入院収益	1,048,260			
外来収益	327,786			
診療収入計	1,376,046			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	160,108			
(うち他会計負担金)	47,919			
(2) 医業外収益	382,663			
(うち国・都道府県補助金)	225,243			
(うち他会計補助・負担金)	121,215			
(うち長期前受金戻入)	19,181			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	590			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	1,818,447			
2 経常費用	1,817,673			
(1) 医業費用	1,762,021			
職員給与費	979,731	63.8	60.2	66.7
材料費	121,072	7.9	25.3	17.8
(うち薬品費)	44,976	2.9	13.3	7.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	73,332	4.8	11.6	9.2
減価償却費	170,866	11.1	9.0	10.4
経費	488,179	31.8	22.5	28.7
(うち委託料)	221,125	14.4	12.5	13.3
研究研修費	2,060			
資産減耗費	113			
(2) 医業外費用	55,652			
(うち支払利息)	10,990	0.7	1.2	1.3
(3) 特別損失	774			
経常損益	101,144			
純損益	100,960			
累積欠損金	514,111			
経常収支比率	105.6		105.6	105.7
医業収支比率	87.2		85.1	80.6
修正医業収支比率	84.5		82.2	76.5
他会計繰入金対経常収益比率	8.8		11.3	14.8
他会計繰入金対医業収益比率	11.0		14.9	20.6
他会計繰入金対総収益比率	8.8		11.2	14.9
実質収益対経常費用比率	96.3		93.6	90.0

備考：
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	4,072,762
1 固定資産	2,662,686
(1) 有形固定資産	2,493,987
(2) 無形固定資産	2,818
(3) 投資その他の資産	165,881
2 流動資産	1,410,076
(1) 現金及び預金	1,150,564
(2) 未収金及び未収収益	257,823
(3) 貸倒引当金()	1,551
(4) 貯蔵品	3,153
3 繰延資産	-
負債合計	2,700,844
1 固定負債	2,033,842
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,881,001
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	152,841
(7) 一 負債	-
2 流動負債	216,351
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	82,955
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	60,747
(6) リ 一 負債	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	62,709
(9) 前受金及び前受収益	1,215
3 繰延収益	450,651
(1) 長期前受金	568,667
(2) 長期前受金収益化累計額()	118,016
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	1,371,918
1 資本金	1,884,955
2 剰余金	-513,037
(1) 資本剰余金	1,074
(2) 利益剰余金	-514,111
負債・資本合計	4,072,762
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	164,701	169,134
資本勘定繰入	66,947	66,615
計	231,648	235,749

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	33.5
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
 ・修正医業収益とは、医業収益から
 その他医業収益のうち他会計負担金を
 除いたもので、修正医業収支比率とは、
 修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、
 「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
 「健全化法上の資金不足額」、
 「健全化法上の資金不足比率」、
 「地財法上の資金不足額」、
 「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
 算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
 財政構造の弾力性を判断するための指標で、
 人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
 支出される経費(経常的経費)に充当された
 一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
 毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
 減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債
 の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和3年度)				都道府県名	
				岡山県	
市町村・組合名		真庭市			
病院名		真庭市国民健康保険湯原温泉病院			
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド 訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第1種該当		
建物面積	9,830 m ²	不採算地区中核病院	第1種該当		
診療科数	18	指定病院の状況	救臨 へ 輪		
許可公営企業		看護配置	10:1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	100床以上～200床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和3年度	令和2年度	令和元年度
一般	50	51.8	61.3	66.5
療養	55	44.9	49.6	60.5
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	105	48.2	55.1	63.4
平均在院日数(一般病床のみ)		18.6	18.6	16.5

設立団体の状況	
人口(人)	42,725
決算規模(千円)	34,575,952
標準財政規模(千円)	20,297,053
財政力指数	0.29
経常収支比率(%)	86.4
健全化	実質赤字比率(%)
判断比率	連結実質赤字比率(%)
	実質公債費比率(%)
	将来負担比率(%)

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	1,669,578			
1 経常収益	1,669,578			
(1) 医業収益	1,006,138			
(うち修正医業収益)	959,662			
入院収益	478,285			
外来収益	394,681			
診療収入計	872,966			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	133,172			
(うち他会計負担金)	46,476			
(2) 医業外収益	663,440			
(うち国・都道府県補助金)	317,551			
(うち他会計補助・負担金)	305,210			
(うち長期前受金戻入)	24,878			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	1,397,565			
2 経常費用	1,397,565			
(1) 医業費用	1,332,578			
職員給与費	853,004	84.8	60.2	66.7
材料費	198,977	19.8	25.3	17.8
(うち薬品費)	140,443	14.0	13.3	7.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	42,432	4.2	11.6	9.2
減価償却費	101,956	10.1	9.0	10.4
経費	172,440	17.1	22.5	28.7
(うち委託料)	64,399	6.4	12.5	13.3
研究研修費	1,207			
資産減耗費	4,994			
(2) 医業外費用	64,987			
(うち支払利息)	21,383	2.1	1.2	1.3
(3) 特別損失	-			
損益	272,013			
純損益	272,013			
累積欠損金	121,541			
経常収支比率	119.5		105.6	105.7
医業収支比率	75.5		85.1	80.6
修正医業収支比率	72.0		82.2	76.5
他会計繰入金対経常収益比率	21.1		11.3	14.8
他会計繰入金対医業収益比率	35.0		14.9	20.6
他会計繰入金対総収益比率	21.1		11.2	14.9
実質収益対経常費用比率	94.3		93.6	90.0

備考：
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	4,331,483
1 固定資産	2,473,365
(1) 有形固定資産	2,449,626
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	23,739
2 流動資産	1,858,118
(1) 現金及び預金	1,688,316
(2) 未収金及び未収収益	159,616
(3) 貸倒引当金()	1,291
(4) 貯蔵品	11,477
3 繰延資産	-
負債合計	1,867,356
1 固定負債	1,149,994
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	932,567
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	217,427
(7) 一ス債務	-
2 流動負債	233,371
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	107,053
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	53,892
(6) リ一ス債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	72,426
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	483,991
(1) 長期前受金	549,343
(2) 長期前受金収益化累計額()	65,352
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	2,464,127
1 資本金	2,247,603
2 剰余金	216,524
(1) 資本金剰余金	33,152
(2) 利益剰余金	183,372
負債・資本合計	4,331,483
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	351,417	351,686
資本勘定繰入	66,427	67,859
計	417,844	419,545

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	12.1
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
・修正医業収益とは、医業収益から
その他医業収益のうち他会計負担金を
除いたもので、修正医業収支比率とは、
修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
・「不良債務額」、「不良債務比率」、
「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
「健全化法上の資金不足額」、
「健全化法上の資金不足比率」、
「地財法上の資金不足額」、
「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
財政構造の弾力性を判断するための指標で、
人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
支出される経費(経常的経費)に充当された
一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債
の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和3年度)				都道府県名	
				岡山県	
市町村・組合名		美作市			
病院名		美作市立大原病院			
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第1種該当		
建物面積	6,642 m ²	不採算地区中核病院			
診療科数	7	指定病院の状況	救へ		
許可公営企業		看護配置	10:1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	50床以上~100床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和3年度	令和2年度	令和元年度
一般	40	78.7	80.5	93.9
療養	40	93.4	92.4	97.3
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	80	86.0	86.5	95.6
平均在院日数(一般病床のみ)		15.7	17.1	18.6

設立団体の状況		
人口(人)	25,939	
決算規模(千円)	22,127,396	
標準財政規模(千円)	14,285,179	
財政力指数	0.27	
経常収支比率(%)	86.0	
健全化	実質赤字比率(%)	-
判断比率	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	11.3
	将来負担比率(%)	-

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	1,248,360			
1 経常収益	1,248,360			
(1) 医業収益	877,004			
(うち修正医業収益)	840,710			
入院収益	543,663			
外来収益	177,536			
診療収入計	721,199			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	155,805			
(うち他会計負担金)	36,294			
(2) 医業外収益	371,356			
(うち国・都道府県補助金)	149,941			
(うち他会計補助・負担金)	205,169			
(うち長期前受金戻入)	12,434			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	983,192			
2 経常費用	983,192			
(1) 医業費用	936,945			
職員給与費	605,879	69.1	60.2	76.8
材料費	94,958	10.8	25.3	14.4
(うち薬品費)	41,860	4.8	13.3	7.7
(うち薬品費以外の医薬材料費)	36,308	4.1	11.6	6.0
減価償却費	75,622	8.6	9.0	11.4
経費	159,271	18.2	22.5	31.5
(うち委託料)	31,923	3.6	12.5	14.5
研究研修費	32			
資産減耗費	1,183			
(2) 医業外費用	46,247			
(うち支払利息)	10,353	1.2	1.2	1.4
(3) 特別損失	-			
損益	265,168			
純損益	265,168			
累積欠損金	-			
経常収支比率	127.0		105.6	103.4
医業収支比率	93.6		85.1	74.3
修正医業収支比率	89.7		82.2	70.1
他会計繰入金対経常収益比率	19.3		11.3	23.0
他会計繰入金対医業収益比率	27.5		14.9	34.1
他会計繰入金対総収益比率	19.3		11.2	22.9
実質収益対経常費用比率	102.4		93.6	79.7

備考：
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	4,296,886
1 固定資産	1,751,093
(1) 有形固定資産	1,536,185
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	214,908
2 流動資産	2,545,793
(1) 現金及び預金	2,380,921
(2) 未収金及び未収収益	164,462
(3) 貸倒引当金()	3,500
(4) 貯蔵品	3,910
3 繰延資産	-
負債合計	1,020,489
1 固定負債	750,498
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	574,313
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	176,185
(7) 一ス債務	-
2 流動負債	78,352
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	34,689
(6) リ一ス債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	43,597
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	191,639
(1) 長期前受金	499,502
(2) 長期前受金収益化累計額()	307,863
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	3,276,397
1 資本金	1,454,948
2 剰余金	1,821,449
(1) 資本金剰余金	49,254
(2) 利益剰余金	1,772,195
負債・資本合計	4,296,886
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	242,586	241,463
資本勘定繰入	18,502	14,839
計	261,088	256,302

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
 ・修正医業収益とは、医業収益から
 その他医業収益のうち他会計負担金を
 除いたもので、修正医業収支比率とは、
 修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、
 「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
 「健全化法上の資金不足額」、
 「健全化法上の資金不足比率」、
 「地財法上の資金不足額」、
 「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
 算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
 財政構造の弾力性を判断するための指標で、
 人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
 支出される経費(経常的経費)に充当された
 一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
 毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
 減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債
 の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和3年度)				都道府県名	
				岡山県	
市町村・組合名		矢掛町			
病院名		国保病院			
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド 訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当		
建物面積	7,875 m ²	不採算地区中核病院			
診療科数	11	指定病院の状況	救 臨 輪		
許可公営企業		看護配置	10:1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	100床以上～200床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和3年度	令和2年度	令和元年度
一般	57	88.5	91.1	91.9
療養	60	85.6	86.0	87.4
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	117	87.0	88.5	89.6
平均在院日数(一般病床のみ)		21.9	21.7	19.8

設立団体の状況		
人口(人)	13,414	
決算規模(千円)	9,669,415	
標準財政規模(千円)	5,684,687	
財政力指数	0.34	
経常収支比率(%)	82.9	
健全化	実質赤字比率(%)	-
判断比率	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	9.1
	将来負担比率(%)	-

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	1,719,815			
1 経常収益	1,719,815			
(1) 医業収益	1,438,049			
(うち修正医業収益)	1,379,049			
入院収益	974,781			
外来収益	304,495			
診療収入計	1,279,276			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	158,773			
(うち他会計負担金)	59,000			
(2) 医業外収益	281,766			
(うち国・都道府県補助金)	44,980			
(うち他会計補助・負担金)	140,300			
(うち長期前受金戻入)	24,368			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	1,731,425			
2 経常費用	1,723,166			
(1) 医業費用	1,643,780			
職員給与費	1,062,821	73.9	60.2	66.7
材料費	173,778	12.1	25.3	17.8
(うち薬品費)	73,581	5.1	13.3	7.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	71,593	5.0	11.6	9.2
減価償却費	119,940	8.3	9.0	10.4
経費	285,230	19.8	22.5	28.7
(うち委託料)	125,743	8.7	12.5	13.3
研究研修費	1,345			
資産減耗費	666			
(2) 医業外費用	79,386			
(うち支払利息)	22,872	1.6	1.2	1.3
(3) 特別損失	8,259			
損益	-3,351			
純損益	-11,610			
累積欠損金	146,533			
経常収支比率	99.8		105.6	105.7
医業収支比率	87.5		85.1	80.6
修正医業収支比率	83.9		82.2	76.5
他会計繰入金対経常収益比率	11.6		11.3	14.8
他会計繰入金対医業収益比率	13.9		14.9	20.6
他会計繰入金対総収益比率	11.6		11.2	14.9
実質収益対経常費用比率	88.2		93.6	90.0

備考：
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	3,948,336
1 固定資産	3,058,294
(1) 有形固定資産	1,560,858
(2) 無形固定資産	84
(3) 投資その他の資産	1,497,352
2 流動資産	890,042
(1) 現金及び預金	581,825
(2) 未収金及び未収収益	301,833
(3) 貸倒引当金()	557
(4) 貯蔵品	6,941
3 繰延資産	-
負債合計	2,131,378
1 固定負債	1,584,016
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,213,607
(2) その他の企業債	178
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	370,231
(7) 一 負債	-
2 流動負債	258,420
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	116,566
(2) その他の企業債	178
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	55,211
(6) リ 一 負債	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	71,983
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	288,942
(1) 長期前受金	515,708
(2) 長期前受金収益化累計額()	226,766
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	1,816,958
1 資本金	1,813,291
2 剰余金	3,667
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	3,667
負債・資本合計	3,948,336
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実績入額
収益勘定繰入	206,324	199,300
資本勘定繰入	68,693	80,600
計	275,017	279,900

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	10.2
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
 ・修正医業収益とは、医業収益から
 その他医業収益のうち他会計負担金を
 除いたもので、修正医業収支比率とは、
 修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、
 「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
 「健全化法上の資金不足額」、
 「健全化法上の資金不足比率」、
 「地財法上の資金不足額」、
 「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
 算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
 財政構造の弾力性を判断するための指標で、
 人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
 支出される経費(経常的経費)に充当された
 一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
 毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
 減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債
 の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和3年度)				都道府県名	
				岡山県	
市町村・組合名	鏡野町				
病院名	国保病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当		
建物面積	5,062 m ²	不採算地区中核病院			
診療科数	6	指定病院の状況	救へ輪		
許可公営企業		看護配置	10:1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	50床以上~100床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和3年度	令和2年度	令和元年度
一般	48	71.8	69.3	77.4
療養	40	57.7	59.0	62.3
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	88	65.4	64.6	70.5
平均在院日数(一般病床のみ)		18.4	19.8	18.4

設立団体の状況		
人口(人)	12,062	
決算規模(千円)	12,162,695	
標準財政規模(千円)	7,523,293	
財政力指数	0.30	
経常収支比率(%)	84.3	
健全化	実質赤字比率(%)	-
判断比率	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	11.5
	将来負担比率(%)	30.5

損益計算書(千円・%)					
区分	決算額	費用	全国平均	類似平均	
総収益	1,425,772				
1 経常収益	1,425,772				
(1) 医業収益	1,294,052				
(うち修正医業収益)	1,259,052				
入院収益	505,135				
外来収益	680,985				
診療収入計	1,186,120				
繰延運営権対価収益	-				
運営権者更新投資収益	-				
その他医業収益	107,932				
(うち他会計負担金)	35,000				
(2) 医業外収益	131,720				
(うち国・都道府県補助金)	54,499				
(うち他会計補助・負担金)	5,000				
(うち長期前受金戻入)	15,471				
(うち資本費繰入収益)	-				
(3) 特別利益	-				
(うち他会計繰入金)	-				
総費用	1,435,851				
2 経常費用	1,435,851				
(1) 医業費用	1,382,540				
職員給与費	816,849	63.1	60.2	76.8	
材料費	353,548	27.3	25.3	14.4	
(うち薬品費)	277,684	21.5	13.3	7.7	
(うち薬品費以外の医薬材料費)	63,309	4.9	11.6	6.0	
減価償却費	66,420	5.1	9.0	11.4	
経費	141,532	10.9	22.5	31.5	
(うち委託料)	76,281	5.9	12.5	14.5	
研究研修費	2,607				
資産減耗費	1,584				
(2) 医業外費用	53,311				
(うち支払利息)	3,038	0.2	1.2	1.4	
(3) 特別損失	-				
経常損益	-10,079				
純損益	-10,079				
累積欠損金	-				
経常収支比率	99.3		105.6	103.4	
医業収支比率	93.6		85.1	74.3	
修正医業収支比率	91.1		82.2	70.1	
他会計繰入金対経常収益比率	2.8		11.3	23.0	
他会計繰入金対医業収益比率	3.1		14.9	34.1	
他会計繰入金対総収益比率	2.8		11.2	22.9	
実質収益対経常費用比率	96.5		93.6	79.7	

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	2,653,006
1 固定資産	765,155
(1) 有形固定資産	764,101
(2) 無形固定資産	1,054
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	1,887,851
(1) 現金及び預金	1,692,948
(2) 未収金及び未収収益	195,476
(3) 貸倒引当金()	4,852
(4) 貯蔵品	4,279
3 繰延資産	-
負債合計	527,914
1 固定負債	153,108
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	126,163
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	26,474
(7) 一ス債務	471
2 流動負債	182,017
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	10,096
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	53,303
(6) リ一ス債務	737
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	117,881
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	192,789
(1) 長期前受金	730,765
(2) 長期前受金収益化累計額()	537,976
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	2,125,092
1 資本金	1,269,967
2 剰余金	855,125
(1) 資本剰余金	4,301
(2) 利益剰余金	850,824
負債・資本合計	2,653,006
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	38,285	40,000
資本勘定繰入	25,174	10,000
計	63,459	50,000

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益から
 その他医業収益のうち他会計負担金を
 除いたもので、修正医業収支比率とは、
 修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、
 「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
 「健全化法上の資金不足額」、
 「健全化法上の資金不足比率」、
 「地財法上の資金不足額」、
 「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
 算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
 財政構造の弾力性を判断するための指標で、
 人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
 支出される経費(経常的経費)に充当された
 一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
 毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
 減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債
 の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和3年度)		都道府県名	
		岡山県	
市町村・組合名	岡山市久米南町国民健康保険病院組合		
病院名	国保福渡病院		
施設及び業務概況等			
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド透訓
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当
建物面積	3,860 m ²	不採算地区中核病院	
診療科数	10	指定病院の状況	救臨 輪
許可公営企業		看護配置	10:1
DPC対象病院	-	経営形態	直営
		類似区分	50床以上~100床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和3年度	令和2年度	令和元年度
一般	52	51.1	31.6	35.5
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	52	51.1	31.6	35.5
平均在院日数(一般病床のみ)		28.0	23.1	17.9

設立団体の状況	
人口(人)	-
決算規模(千円)	-
標準財政規模(千円)	-
財政力指数	-
経常収支比率(%)	-
健全化	実質赤字比率(%)
判断比率	連結実質赤字比率(%)
	実質公債費比率(%)
	将来負担比率(%)

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	745,472			
1 経常収益	745,472			
(1) 医業収益	639,968			
(うち修正医業収益)	547,436			
入院収益	279,082			
外来収益	241,368			
診療収入計	520,450			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	119,518			
(うち他会計負担金)	92,532			
(2) 医業外収益	105,504			
(うち国・都道府県補助金)	13,184			
(うち他会計補助・負担金)	85,426			
(うち長期前受金戻入)	1,108			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	778,705			
2 経常費用	778,705			
(1) 医業費用	744,153			
職員給与費	494,357	77.2	60.2	76.8
材料費	67,576	10.6	25.3	14.4
(うち薬品費)	28,879	4.5	13.3	7.7
(うち薬品費以外の医薬材料費)	29,734	4.6	11.6	6.0
減価償却費	60,440	9.4	9.0	11.4
経費	117,294	18.3	22.5	31.5
(うち委託料)	46,441	7.3	12.5	14.5
研究研修費	396			
資産減耗費	4,090			
(2) 医業外費用	34,552			
(うち支払利息)	4,599	0.7	1.2	1.4
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損	-33,233			
純損	-33,233			
累積欠損金	370,720			
経常収支比率	95.7		105.6	103.4
医業収支比率	86.0		85.1	74.3
修正医業収支比率	73.6		82.2	70.1
他会計繰入金対経常収益比率	23.9		11.3	23.0
他会計繰入金対医業収益比率	27.8		14.9	34.1
他会計繰入金対総収益比率	23.9		11.2	22.9
実質収益対経常費用比率	72.9		93.6	79.7

備考：
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	1,695,391
1 固定資産	852,409
(1) 有形固定資産	774,580
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	77,829
2 流動資産	842,982
(1) 現金及び預金	693,967
(2) 未収金及び未収収益	146,713
(3) 貸倒引当金()	2,084
(4) 貯蔵品	4,300
3 繰延資産	-
負債合計	427,851
1 固定負債	259,555
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	259,555
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) 一時的借入金	-
2 流動負債	112,822
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	47,795
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	27,363
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	34,504
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	55,474
(1) 長期前受金	74,788
(2) 長期前受金収益化累計額()	19,314
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	1,267,540
1 資本金	1,441,716
2 剰余金	-174,176
(1) 資本剰余金	5,063
(2) 利益剰余金	-179,239
負債・資本合計	1,695,391
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	176,785	177,958
資本勘定繰入	48,937	70,825
計	225,722	248,783

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	57.9
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
 ・修正医業収益とは、医業収益から
 その他医業収益のうち他会計負担金を
 除いたもので、修正医業収支比率とは、
 修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、
 「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
 「健全化法上の資金不足額」、
 「健全化法上の資金不足比率」、
 「地財法上の資金不足額」、
 「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
 算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
 財政構造の弾力性を判断するための指標で、
 人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
 支出される経費(経常的経費)に充当された
 一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
 毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
 減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債
 の合計額に占める割合をいう。